



第60回 日本理学療法学会 折鶴



医療療養病棟の患者さんが作った千代紙が世界へと飛ばしたいお話をご紹介します。レクリエーション創作活動で千代紙を作りました。

白地の和紙に絵具で彩色しながら、「こんな着物柄あったよ」「これが千代紙になるわけね」「私のおばあさんは鶴を折るのが上手だったよ」などと、懐かしむ様子がありました。

その千代紙で折った鶴は、5月に東京で開催された「World Physiotherapy Congress 2025（第60回日本理学療法学会）」において、当院理学療法士の添田係長から世界各国の方々へ手渡されました。

患者さんの想いが込められた「世界でひとつの"chiyogami"」は、まさに世界へ飛ばたきました。また、鶴の裏にはInstagramQRコードを記載しており、新たなフォロワーも増えています。

リハビリテーション部レクリエーショントレーナー
主任 上野 小百合



鶴巻温泉病院の理念

使命 (mission)

- リハビリテーションを横軸とし、回復期、慢性期、難病、緩和、訪問の多機能を縦軸とした、全人医療・介護を実践する

共有価値観 (core values)

- 尊厳 高質 協調 思いやり 品格

将来展望 (vision)

- 地域包括ケアシステムの医療・介護の中心となる多機能慢性期病院

contents

- 日本理学療法学会 研修大会
- 院長室より
- おしえて薬剤師さん
- 連携医療機関のご紹介
- リハビリテーション部より
- 院内提供食の紹介

夢があるから、がんばれる。



真に患者視点にたつということ — patient experienceとは—



昨年10月から院長となり今回はじめてこのコーナーに寄稿します。

執筆している今は雪がちらつく寒さですが、今号が発刊される頃には温かくなっているかもしれません。

さて、みなさんはPXという言葉を知っていますか。PXはペイシェント・エクスペリエンスpatient experienceの略で、一般には患者経験価値と訳します。先日院長通信で発表した病院目標の中にもある用語で、そこでは「患者体験価値」と書きました。経験よりも体験のほうが、感情や知覚などの主観的な意味合いが強まって趣旨と合うように感じるからです。PXとは患者中心医療の指標であり、医療の開始から終了までに患者さんが経験するすべての事象を患者視点で記述したものです。たとえば「優しいような職員が病院の入り口で出迎えに出て声をかけてくれたので安心した」とか、逆に「気難しそうな職員が無言で車いすを押していくので不安だった」のようになります。これを病院管理視点で書くと「職員が玄関で患者を出迎える」でしょうか。真に患者視点に立つのは本当に難しいと承知しつつこれに取り組んでまいります。なお、わたしは日本ペイシェント・エクスペリエンス研究会の理事を務めています。興味のある方は同研究会ホームページに告知されているイベントに参加してみてくださいでしょうか。



おしえて薬剤師さん



医療DXってなに？

～あなたの薬と安全を守るデジタル化の力～

● そもそも「医療DX」って何のこと？

DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術を活用して、仕組みやサービスを根本的に改善することです。医療DXとは、紙や電話に頼っていた医療情報をデジタルでつなぎ、「安全で、効率的で、質の高い医療」を実現しようという国の大きな取り組みです。

医療DXは、「カルテ」や「処方箋」を紙からデータに変え、病院・薬局をネットワークでつなぐことで、健康管理を強力にサポートします。

● 医療DXで進められている仕組み

医療DXで進められている最も身近な仕組みが、「電子処方箋」と「電子カルテ情報共有サービス」です。

仕組み	DXによるメリット(いいこと)
電子処方箋	過去の処方薬や現在使っている薬の情報が、病院・薬局間でリアルタイムに共有できます。薬の重複や危険な飲み合わせを未然に防ぎます。
電子カルテ情報共有サービス	ご本人の同意があれば、診療に必要な情報(病名、アレルギー歴、副作用歴など)を他の病院とも共有でき、緊急時でも適切な治療を素早く受けられます。

● お薬でのメリット(いいこと)は「安全性」

医療DXは、単なる効率化ではありません。デジタルで病院と薬局がしっかりつながることで、薬剤師は、お薬などの情報を正確に把握し、お薬の重複を防ぐなどより安全で、最適なサポートができるようになります。



今後、当院でも準備が整いましたら改めてご案内します

連携医療機関のご紹介

さくらみちファミリークリニック



詳細は
こちら↓



当クリニックは2025年7月に開業しました。ファミリークリニックであり0歳児から高齢者まで年齢、疾患を問わず診療しております。英語対応や外科対応も可能です。急患・外傷も積極的に受け入れております。夫婦で開業し、医師は二人体制です。院長は循環器疾患、副院長は脳神経外科を得意としております。地域の方から「困ったらとりあえず受診してみよう」と思っただけのようなクリニックにしていきたいと思っております。院長は開業前まで鶴巻温泉病院に勤務し、回復期を担当しておりました。

鶴巻温泉病院では病棟スタッフの方々が患者さんにとっても優しく、いつも詳細に病状を観察し報告下さいました。また、退院した後の事、ご家族の事もとても丁寧に考え、対応されておりました。このような環境で働き、考え方を学べたことは医師人生の宝になっております。クリニックを開業し、地域連携の重要性を痛感しております。今後ともよろしくお祈りします。

院長 藤本浩和 / 副院長 藤本潮香

- 住 所：〒257-0018 神奈川県秦野市今泉台3丁目18-17
- 電 話：0463-72-8117 (受付時間 診療時間に準ずる)
- 診療時間：平日9:00～12:30 (受付は11時30分まで)、14:00～17:00 (受付は16時00分まで)
- 診療科目：内科 外科 小児科 ※土曜日の診療時間は9時から13時までです。【休日】水・日祝

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	●	●	-	●	●	※	-
14:00～17:00	●	●	-	●	●	-	-

リハビリテーション部より「学会報告」



■中澤彩乃 (作業療法士)

私は地域包括ケア病棟でリハビリをしている作業療法士です。認知症のある方の中には、幻覚、妄想、不安、抑うつ、興奮、脱抑制などの症状（専門的にはBPSDと言います）がある方が多く、自宅にて生活を続けることが難しくなることが多いと感じていました。

そこで、BPSDが自宅退院に与える影響について調べ、全国国保地域医療学会にて発表し、優秀研究として賞をいただきました。これからも、自宅での生活を希望する方々に対してしっかりと支援できるように精一杯取り組んでいきたいと思っています。

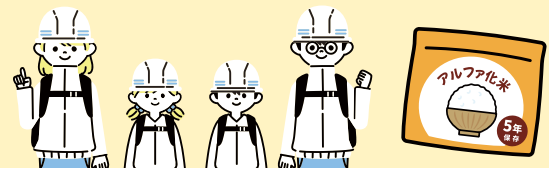


■井手歩美 (理学療法士)

私は障がい者・難病病棟でリハビリをしている理学療法士です。ギラン・バレー症候群の患者さんとの約2年9か月にわたるリハビリの経過をまとめ、第13回慢性期リハビリテーション学会にて報告し、優秀演題を受賞しました。自ら食事を摂ることや趣味の再開といった一つひとつの目標を重ね、施設退院から自宅退院を目指すまでに至った想いの変化の過程は、まさに努力の積み重ねそのものでした。患者さんとセラピストが諦めることなく懸命に取り組んだ成果を多くの方に知っていただきたい、また同様の患者さんを担当するセラピストの一助となしてほしいとの思いから、学会にて報告しました。今後も患者さん・ご家族に寄り添い、ともに考えながら、質の高いリハビリテーションの提供に努めてまいります。



院内提供食の紹介【3月11日 防災を意識する日】



当日はこのようなカードを作成し、**食事を提供する際に、患者さんにお渡し**しています

厚生労働省は医療機関に対し、南海トラフ地震などの大規模災害に備えた食料と飲料水の備蓄を求めています。当院でも3食×3日分を備蓄しており、院内外の倉庫に保管しています。

3年前から東日本大震災のあった3月11日を「防災を意識する日」とし、備蓄食を使用した献立を患者さんに召し上がって頂いております。主食はアルファ化米を使用した小豆粥を提供しています。アルファ化米とは炊飯後のごはんを乾燥させて作った加工米で、お湯や水を注ぐだけで食べられます。分量を調整することで、お粥として提供することもできます。他にも調理不要ですぐに食べられるカレー、飲み込みの機能に配慮したおかずなど、様々な患者さんに対応できるように備蓄食を選定しています。

今後も大規模災害に備え、「食」の確保、提供体制を整えることで、患者さんの安全・安心を守ることができるように取り組んでいきたいと思っております。

医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院

湘南メディカルセンター／湘南リハビリテーションセンター

〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 1-16-1
TEL 0463(78)1311 FAX 0463(78)5955



地域連携室 ☎ 0463-78-1319

入院相談専用ダイヤル ☎ 0120-131-146

ご意見フリーダイヤル ☎ 0120-250-646
(バイシエント・ベル)

- 診療科：内科、脳神経内科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、歯科
- ベッド数：一般・療養病床 494床 介護医療院 52床

● 外来診療時間（受付時間）

【月～金】14:00～17:00（13:30～16:30）
【土】9:30～12:30（9:00～12:00）
（第1・第3・第5のみ）
休診 第2・4土曜、日曜・祝日、年末年始

● 湘南リハビリテーションセンター

回復期リハビリテーション病棟入院料1 200床

● 湘南メディカルセンター

湘南メディカルセンター
医療一般・障害者施設等入院基本料 55床
医療一般・特殊疾患病棟1 56床
医療療養病棟入院料1 120床
医療一般・緩和ケア病棟1 24床
地域包括ケア病棟入院料2 39床



● 鶴巻温泉病院介護医療院

I型介護医療院(I) 52床

病院ホームページ

● 交通案内

● 車でお越しの場合

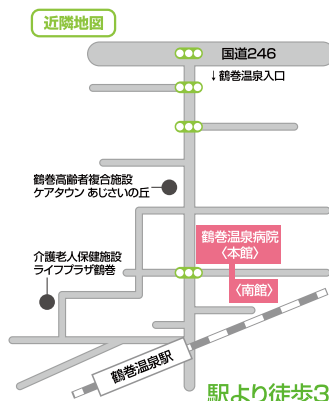


● 電車でお越しの場合



鶴巻温泉駅までの所要時間

新宿から……小田急線 急行・快速急行 ……約60分
小田原から……小田急線 急行・快速急行 ……約30分
横浜から……相鉄線・海老名乗換→小田急線……約55分
藤沢から……小田急線・相模大野乗換 ……約55分



鶴巻温泉病院 全景